

5. 環境に配慮した暮らしについて

5-1 暮らしの中での二酸化炭素排出削減の取組み（問 10）

問 10 あなたのご家庭では、節電などの省エネの実践やマイカーの利用を控えるなど日常的な暮らしの中で二酸化炭素の排出の削減に取り組んでいますか。【回答数：○印を1つだけ】

日常的な暮らしの中で二酸化炭素の排出の削減に「取り組んでいる・まあ取り組んでいる」という町民は約4割を占めていますが、「あまり取り組んでいない・取り組んでいない」という町民も約2割を占めており、決して少なくありません。年齢の低い町民ほど、「あまり取り組んでいない・取り組んでいない」の割合が多くなっています。

【全体】（図 5-1-1）

- 日常的な暮らしの中で二酸化炭素の排出の削減の取組状況について尋ねたところ、「取り組んでいる」と回答した町民は11.0%、「まあ取り組んでいる」は32.4%で、合わせて43.4%を占めています。
- 一方、「あまり取り組んでいない」と回答した町民は17.8%、「取り組んでいない」は5.2%で、合わせて23.0%で、「取り組んでいる・まあ取り組んでいる」という回答割合を20.4ポイント下回っています。しかしながら、その割合は、決して少なくない割合であり、二酸化炭素の排出の削減の取組をより一層多くの町民に浸透させていくことが求められます。

【前回比較】（図 5-1-1）

- 平成27年調査では、「取り組んでいる」と回答した町民は14.1%、「まあ取り組んでいる」と回答した町民は35.9%で、合わせて50.0%だったことから、6.6ポイント減少しました。

【年齢別】（図 5-1-2）

- 「あまり取り組んでいない・取り組んでいない」という回答は、年齢が低いほど多い傾向がみられ、最も多い20歳代で、31.8%（20.0%+11.8%）次いで30歳代で31.1%（22.9%+8.2%）の結果となっています。

図 5-1-1 前回比較「暮らしの中での二酸化炭素排出削減の取組み」

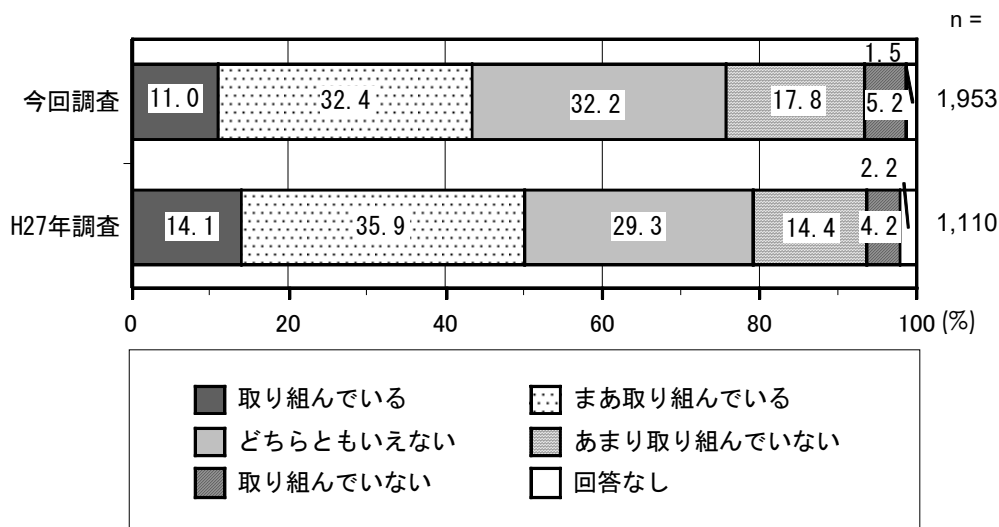
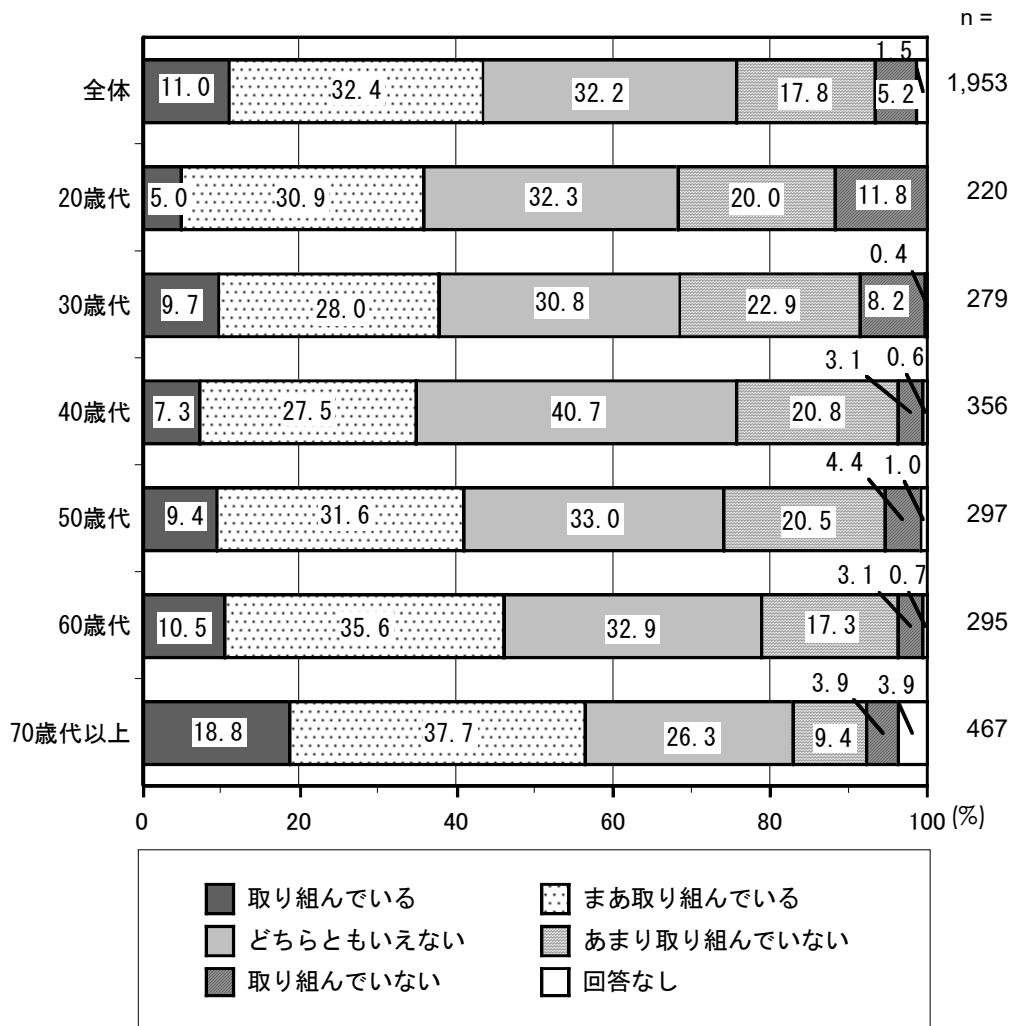


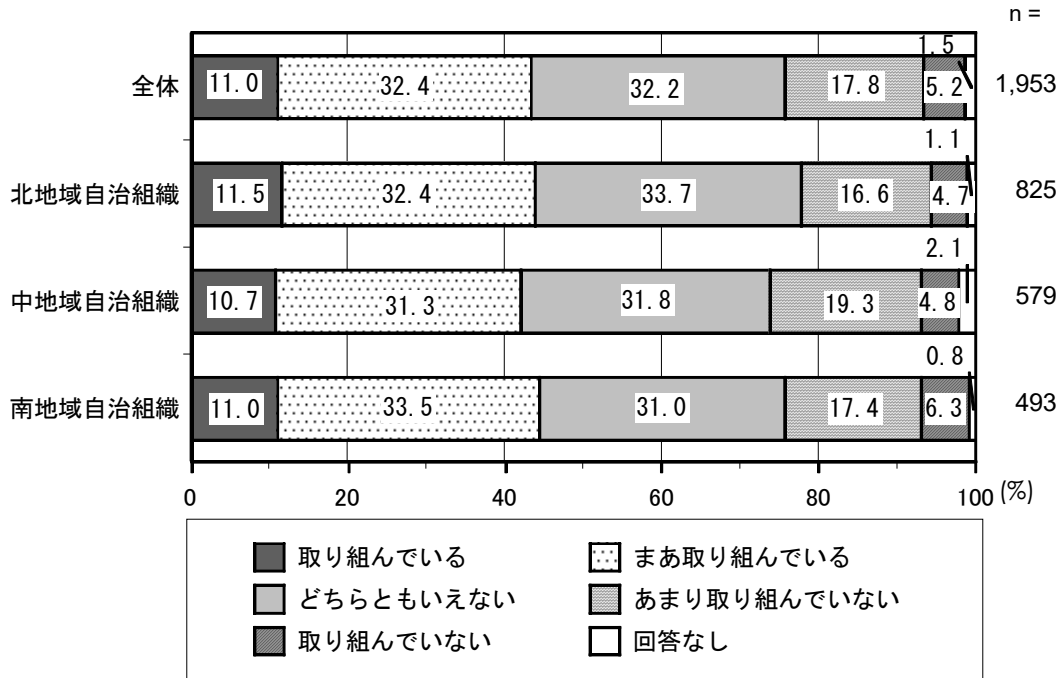
図5-1-2 年齢別「暮らしの中での二酸化炭素排出削減の取組み」



【居住地域別】 (図 5-1-3)

○居住地区別による有意な差は認められません。

図 5-1-3 居住地域別「暮らしの中での二酸化炭素排出削減の取組み」



5-2 家庭におけるごみ減量化の取組み（問11）

問11 あなたの家庭では、ごみの減量化や分別によるごみの資源化に取り組んでいますか。

【回答数：○印を1つだけ】

ごみの減量化や分別によるごみの資源化に「取り組んでいる・まあ取り組んでいる」という町民は8割を占めています。

【全体】（図5-2-1）

○ごみの減量化や分別によるごみの資源化の取組状況について尋ねたところ、「取り組んでいる」と回答した町民は35.2%、「まあ取り組んでいる」は46.1%で合わせて81.3%を占めています。

○一方、「あまり取り組んでいない」と回答した町民は3.9%、「取り組んでいない」は1.0%と合わせても4.9%と僅かです。

【前回比較】（図5-2-1）

○平成27年調査結果との比較では、ほとんど差は認められません。

【年齢別】（図5-2-2）

○「取り組んでいる」という回答割合は、60歳代が38.6%、70歳代以上が50.3%と、概ね年齢が高いほど多くなる傾向がみられます。

図5-2-1 前回比較「家庭におけるごみ減量化の取組み」

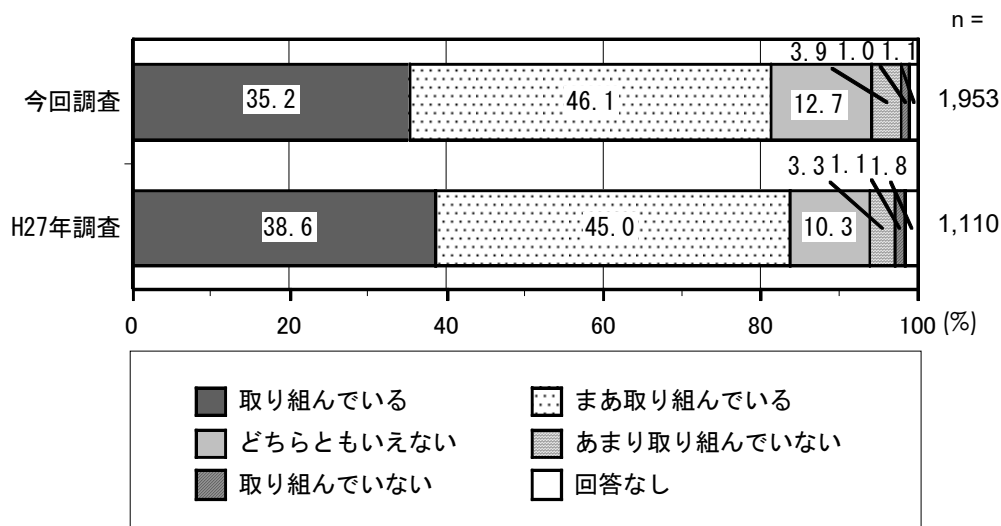
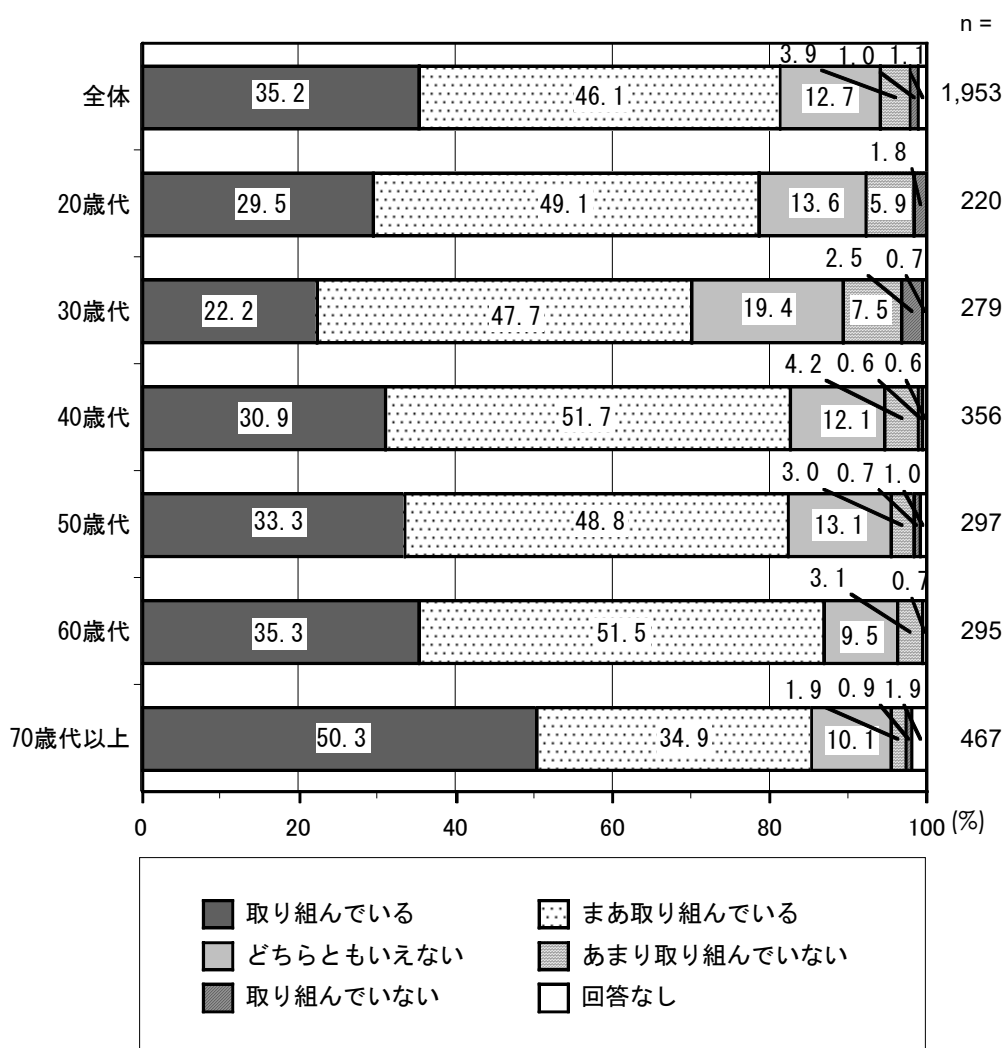


図 5-2-2 年齢別「家庭におけるごみ減量化の取組み」



【居住地域別】 (図 5-2-3)

○居住地区別による有意な差は認められません。

図 5-2-3 居住地域別「家庭におけるごみ減量化の取組み」

